



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月7日

上場会社名 株式会社テノックス 上場取引所 東
コード番号 1905 URL <https://www.tenox.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 若尾 直
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 谷山 敦之 TEL 03-3455-7758
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	18,861	25.2	1,034	228.0	1,047	191.3	661	132.1
2024年3月期第3四半期	15,070	11.3	315	△33.1	359	△30.1	285	△29.4

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 686百万円 (131.3%) 2024年3月期第3四半期 296百万円 (△19.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	100.16	99.02
2024年3月期第3四半期	43.59	42.68

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	20,333	13,128	63.0
2024年3月期	19,066	12,689	64.5

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 12,814百万円 2024年3月期 12,302百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	19.00	—	19.00	38.00
2025年3月期	—	21.00	—		
2025年3月期（予想）				22.00	43.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	23.7	890	70.8	930	66.7	650	67.5	99.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年3月期3Q	7,347,680株	2024年3月期	7,347,680株
2025年3月期3Q	707,354株	2024年3月期	792,750株
2025年3月期3Q	6,606,526株	2024年3月期3Q	6,541,662株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	8
3. 補足情報	9
受注高・売上高・受注残高内訳表	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大等を背景に、引き続き景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、不安定な国際情勢や円安の長期化、継続的な物価上昇、日本銀行の利上げなど金融資本市場の動向も含め、国内外の経済動向の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

建設業界におきましても、引き続き公共投資、民間投資共に緩やかながら増加することが見込まれ、建設需要全体としては底堅く推移しつつあります。しかしながら、高止まりする建設資材価格や現場従事者の慢性的な不足に加え、時間外労働の上限規制への対応など多くの課題を抱えております。

このような状況のもと、当社グループは2024年度を新中期経営計画の初年度と位置づけ、5つの重要戦略（事業別戦略、開発戦略、環境・デジタル戦略、経営基盤の強化、資本効率経営の推進）を通じて、変化する社会課題に取り組む、持続可能な100年企業を目指しております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ大型の地盤改良工事が減少したものの、大型の杭工事が寄与したことで188億61百万円（前年同期比25.2%増）となりました。利益につきましては、地盤改良工事の着工時期の遅れなどに伴う工事の減少、一般的な労務費の上昇や、販売費及び一般管理費が増加した影響もありましたが、施工効率の向上や契約条件の最適化等の営業活動の取り組み、大型の杭工事が寄与したことなどにより、営業利益は10億34百万円（前年同期比228.0%増）、経常利益は10億47百万円（前年同期比191.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億61百万円（前年同期比132.1%増）と増収・増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（建設事業）

建設事業は、主に工場関連や物流施設の大型の地盤改良工事が減少したものの、前期に引き続き、鉄道などのインフラ関連の大型の杭工事が増加したことから、売上高は186億88百万円（前年同期比24.8%増）となりました。また、利益につきましては、地盤改良工事の着工時期の遅れなどに伴う工事の減少、一般的な労務費の上昇の影響がありました。また、施工効率の向上や契約条件の最適化等の営業活動の取り組み、大型の杭工事が寄与したことなどにより、セグメント利益は11億33百万円（前年同期比168.4%増）となりました。

（土木建築コンサルティング全般等事業）

土木建築コンサルティング全般等事業は、主に実験・試験業務および解析業務が増加したことにより、売上高は1億53百万円（前年同期比94.6%増）となりました。また、利益につきましては、労務費などの増加の影響もありセグメント損失は1億5百万円（前年同期は1億13百万円の損失）となりました。

（その他の事業）

その他の事業は、川崎市に所有している不動産の賃貸により、売上高は19百万円（前年同期比0.1%減）、セグメント利益は6百万円（前年同期比0.5%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ12億66百万円増加し、203億33百万円となりました。これは主に現金預金が1億20百万円減少したものの、受取手形・完成工事未収入金及び契約資産等が11億85百万円、有形固定資産が1億78百万円増加したことによるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ8億27百万円増加し、72億4百万円となりました。これは主に流動負債のその他で未払金などが2億29百万円減少したものの、支払手形・工事未払金等が7億58百万円、未払法人税等が3億10百万円増加したことによるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億38百万円増加し、131億28百万円となりました。これは主に利益剰余金が3億89百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は、63.0%（前連結会計年度末は64.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月10日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	8,367,784	8,246,883
受取手形・完成工事未収入金及び契約資産等	※3 3,127,594	※3 4,312,918
電子記録債権	※1 1,657,896	※1 1,558,898
未成工事支出金等	1,000,210	1,018,270
未収入金	※2 716,331	※2 649,129
その他	417,463	450,042
貸倒引当金	△2,010	△2,054
流動資産合計	15,285,271	16,234,087
固定資産		
有形固定資産	2,587,641	2,765,969
無形固定資産		
のれん	11,922	8,670
その他	92,436	136,094
無形固定資産合計	104,358	144,765
投資その他の資産		
その他	1,092,792	1,191,392
貸倒引当金	△3,072	△3,072
投資その他の資産合計	1,089,719	1,188,320
固定資産合計	3,781,719	4,099,054
資産合計	19,066,990	20,333,142

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	4,608,237	5,366,575
1年内返済予定の長期借入金	9,940	9,940
未払法人税等	30,906	341,639
契約負債	300,777	147,610
工事損失引当金	5,600	24,500
その他の引当金	118,940	36,636
その他	668,329	438,430
流動負債合計	5,742,731	6,365,332
固定負債		
退職給付に係る負債	502,194	532,054
引当金	88,219	99,988
その他	44,240	207,188
固定負債合計	634,655	839,231
負債合計	6,377,386	7,204,564
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,710,900	1,710,900
資本剰余金	2,340,256	2,353,342
利益剰余金	8,685,750	9,074,865
自己株式	△540,658	△486,091
株主資本合計	12,196,248	12,653,015
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	118,514	167,832
為替換算調整勘定	△12,002	△6,241
その他の包括利益累計額合計	106,512	161,591
新株予約権	89,636	48,009
非支配株主持分	297,207	265,962
純資産合計	12,689,604	13,128,577
負債純資産合計	19,066,990	20,333,142

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年 4月 1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年 4月 1日 至 2024年12月31日)
売上高	15,070,747	18,861,325
売上原価	13,044,340	16,010,784
売上総利益	2,026,406	2,850,540
販売費及び一般管理費	1,710,830	1,815,595
営業利益	315,575	1,034,945
営業外収益		
受取利息	651	1,088
受取配当金	9,712	16,028
仕入割引	17,816	9,829
物品売却益	6,323	5,540
為替差益	7,194	—
その他	2,354	4,412
営業外収益合計	44,053	36,900
営業外費用		
支払手数料	27	—
為替差損	—	24,392
控除対象外消費税等	119	415
その他	10	3
営業外費用合計	158	24,811
経常利益	359,471	1,047,034
特別利益		
固定資産売却益	30,999	1,709
特別利益合計	30,999	1,709
特別損失		
固定資産処分損	163	185
損害補償損失	—	50,000
その他	0	—
特別損失合計	163	50,185
税金等調整前四半期純利益	390,307	998,558
法人税等	137,647	367,196
四半期純利益	252,659	631,361
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△32,463	△30,345
親会社株主に帰属する四半期純利益	285,123	661,706

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年 4月 1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年 4月 1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	252,659	631,361
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	50,333	49,317
為替換算調整勘定	△6,276	5,760
その他の包括利益合計	44,057	55,078
四半期包括利益	296,717	686,440
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	329,180	716,785
非支配株主に係る四半期包括利益	△32,463	△30,345

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	建設事業	土木建築コン サルティング 全般等事業	その他の事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	14,966,408	78,806	—	15,045,215	—	15,045,215
その他の収益	6,230	—	19,301	25,531	—	25,531
外部顧客への売上高	14,972,639	78,806	19,301	15,070,747	—	15,070,747
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	6,340	—	6,340	△6,340	—
計	14,972,639	85,147	19,301	15,077,087	△6,340	15,070,747
セグメント利益又は損失 (△)	422,314	△113,412	6,674	315,575	—	315,575

(注) 1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	建設事業	土木建築コン サルティング 全般等事業	その他の事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	18,678,456	153,370	—	18,831,826	—	18,831,826
その他の収益	10,216	—	19,282	29,498	—	29,498
外部顧客への売上高	18,688,672	153,370	19,282	18,861,325	—	18,861,325
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,485	9,607	—	15,092	△15,092	—
計	18,694,157	162,977	19,282	18,876,417	△15,092	18,861,325
セグメント利益又は損失 (△)	1,133,493	△105,255	6,706	1,034,945	—	1,034,945

(注) 1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年 4月 1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年 4月 1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	352,790千円	395,778千円
のれんの償却額	3,251	3,251

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

※1 電子記録債権譲渡高

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
電子記録債権譲渡高	1,479千円	5,855千円

※2 ファクタリング方式により譲渡した売上債権の未収額

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
未収入金	597,126千円	590,990千円

※3 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。当四半期連結会計期間末日満期手形の金額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
受取手形	1,544千円	700千円

3. 補足情報

受注高・売上高・受注残高内訳表

前第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

①受注高・受注残高

セグメントの名称	受注高（千円）	受注残高（千円）
建設事業	22,002,329	12,819,553
土木建築コンサルティング全般等事業	—	—
その他の事業	—	—
合 計	22,002,329	12,819,553

(注) 当連結企業集団では土木建築コンサルティング全般等事業及びその他の事業は受注生産を行っておりませんので、同事業については受注高及び受注残高の記載を省略しております。

②売上高

セグメントの名称	金額（千円）
建設事業	14,972,639
土木建築コンサルティング全般等事業	78,806
その他の事業	19,301
合 計	15,070,747

当第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

①受注高・受注残高

セグメントの名称	受注高（千円）	受注残高（千円）
建設事業	15,937,961	9,067,759
土木建築コンサルティング全般等事業	—	—
その他の事業	—	—
合 計	15,937,961	9,067,759

(注) 当連結企業集団では土木建築コンサルティング全般等事業及びその他の事業は受注生産を行っておりませんので、同事業については受注高及び受注残高の記載を省略しております。

②売上高

セグメントの名称	金額（千円）
建設事業	18,688,672
土木建築コンサルティング全般等事業	153,370
その他の事業	19,282
合 計	18,861,325